

あ み だ じ  
阿 弥 陀 寺  
だ よ り

2011年 1月 1日 第 7号

発行

金剛山 阿弥陀寺

大谷 義文 伊藤 康

☎ 861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

TEL (096) 289-0424 FAX (096) 297-9161

✉ amidaji@s3.kcn-tv.ne.jp

郵便振替:01710-8-68921 加入者名:阿弥陀寺事務所

迎春

本年もどうぞ  
よろしくお願ひします



阿弥陀寺本堂 (東面)

明るい日

大谷 義文

ランドセルを放り投げ、友だち数人でよく木登りに出かけた。そこは、私達のお気に入りの場所、太くて高い木が数本並んでいる。その木に登ると、目の前に広がる田んぼが見渡せる。その一番端が私の木だ。最初に突き出ている枝が、重量挙げ選手の腕のようで好きだった。そこにまたがり、大きな幹に身をあずけ、しばらく遠くを眺めていた。きつと思いつつ、巡ることが、たくさんあったのだろう。いまとなつては、まったく思い出せないが、大好きな時間だった。いま目の前に、新築の阿弥陀寺が建立された。瓦が載る前、足場から屋根に登り棟木にまたがり辺りを見渡した。雑木林が減り、家がだいぶ増えた。遠くを眺めると、山々が優美な日の暮れを演出している。

そういえばこんな風景も見なくなった。そもそも私たちの日常は、実際にあるものよりも、頭の中に描く創造と夢ばかりを見ている。さらには、テレビ画面に映し出される笑いに満ちた常形ではないか。それでは、目を瞑りたくなるのも至極当然。あの時の眺めは、心地よかった。島根県の山奥で誕生したお寺が、ここに腰を下ろした。ご本尊である阿弥陀仏は、「私を見なさい」とは教えていない。「私に気づけば、見えるでしょう」と教えてくださる。気づけば、そばに人が居るではないか。畑や田んぼも見える。雲や星も見える。声が聞こえ、香りが漂う。それが古を積める営みだ。そうだ、お寺とは稽古場だ。もう一度、あの木に登り考えてみようと思う。



佐土原本店 / 熊本市佐土原1-12-1 (佐土原バス停前)

電話 096-360-8488

営業時間 昼/11:00~15:30 (オーダーストップ15:00)  
夜/17:00~21:30 (オーダーストップ21:00)  
定休日/毎週火曜日 (祝日の場合翌日振替) 7・8月、12・1月は不定休



上乃裏通り店 / 熊本市水道町4-1 アートビル1F

電話 096-352-3228

営業時間 昼/11:00~15:30 (オーダーストップ15:00)  
夜/17:00~21:30 (オーダーストップ21:00)  
定休日/毎週月曜日 (祝日の場合翌日振替) 7・8月、12・1月は不定休

http://www.kawasen.jp/

# いずこの寺の鐘ならむ 諸行無常と告げわたる

阿弥陀寺建立は、完成を迎えた。うららかな春の日差しを浴びて開工工事中。炎天下の中、基礎工事。そして上棟。仕上げの時期になると、左官職人の吐く息が白く、木枯らしのふく季節。南側にわずかな境内を設けたが、そこに樹木が植えられると建造物に息が吹き込まれたように温もりを感じる。お寺の建設を通して、それぞれの職人さんに、請け負う責務と技術のこだわりを魅せられ深く感銘を受けた。また、このような時期にでもたくさんの方々に「支援をいただいた。阿弥陀寺一同、深く御礼申し上げます。」

このお寺を基盤に、「無縁社会」と言われる現代に投げかける「縁」を、課題に活動することが、先達の願いであり後世への願いであると気づかされた。

## 阿弥陀寺建立



正面↑

本堂↓



『孝女白菊の歌』(落合重文・作)より

11月、工事も終盤になり島根県の阿弥陀寺より仏具を移動した。建立当時からある吊り鐘、読経時に打つキン、御本尊、(阿弥陀仏・木造)、宮殿(ご本尊が入る建物)である。京都より宮殿を手がけた職人さんにお越しいただき指示を仰ぎながら、村の方々の手もお借りして、2トトラックに積み込んだ。

また、日頃から指導いただいている、大阪府豊中市の最勝寺様(中井賢隆住職)より、以前使われていたという仏具一式すべてを寄贈いただいた。見応えのあるすばらしい仏具である。

それから、長崎市の正覚寺様(有馬道文住職)からも仏具を寄贈していただいた話すことは一切無く、はにかみながら話される姿が人柄を表していた。お寺を始めた当初、何もできない私たちが気遣って、大量の印刷物を引き受けてくださった。また、法事がある時は駐車場もお借りしていた。お礼を差し出しても、受け取るうとせず、「何かあれば、遠慮なくよかぞ」と言い残される。

多趣味であり、篆刻を始められた時は、落款を作ってくださいました。また、キノコの栽培、庭木の剪定、芋畑を耕したりと毎日軽トラッ



納骨堂への通路

クに乗っていた。金魚を飼育されていて、その話とはくにおもしろかった。ご恩を返すにはあまりにも大きすぎて及ばないが、目の前で「ありがとうございました」とだけは言いたかった。

## 追悼 福島章之 園長

阿弥陀寺建立に、多大なご尽力で支えてくださった、「ひるやす保育園」福島章之園長が10月29日、「ご病気のため突然お亡くなり」なされた。享年65歳。

益城町は、近年宅地開発が進み、子どもが増えた。それに伴い、保育園に入れない待機児童が増えているのを危惧して平成20年、自らの土地を提供し「ひるやすし保育園」を設立。長男である福島基紀園長が勤めている。地域への熱い念いを持った方を失ったことは、非常に残念でならない。

残された私たちは、園長の地域への思い、お寺への思いを受け継ぎ、生前の遺徳を偲ぶことを供養とします。



保育園で発表会(こども能チャレンジ)大鼓を打つ、福島章之園長

### 御礼の言葉

大谷義文

阿弥陀寺は、福富地区の墓地の一角に建立された。そこには、享年53歳という若さで先立たれた奥さまの福島良子先生が眠っている。

園長は日頃、「二人で築き上げた保育園がいつでも眺められるように墓を建てたが、家が建つて見えなくなりました。お寺があれば毎日お経が上がり、そこに眠る人たちの供養になる」と言われ、お寺の建設に意欲を示してくださいました。

昨年の3月、「墓地の一角は私の土地だから、お寺を建ててみたらどうか」と玄関先で言われた。何事もひざを突き詰めて

## 落慶法要のご案内

故 福島章之園長 追弔法要

日時 平成23年3月13日(日) 正午より勤行 3時まで

場所 阿弥陀寺

記念法話 古田和弘師

大谷大学名誉教授

祝賀会

九州大谷短期大学名誉学長  
ホテルニューオータニ熊本  
午後4時より

※参加を希望される方は、1月末日までにご連絡ください。法要の詳細は、次号でお知らせいたします。



地鎮祭でのあいさつ

仏壇修復・御宮殿修復・須弥壇修復・彩色仕上・各種仏具修復新調

### 株式会社 松下仏壇店

熊本店 / 熊本市上水前寺1-12-12 (東バイパス熊工前)  
096-384-5666  
玉名店 / 玉名市中1832 (玉名高校前)  
0968-74-4840  
山鹿店 / 山鹿市大橋通り404  
0968-43-5665  
本店 / 大牟田市上町2-2-4 (上宮通り)  
0944-56-3675  
ショールーム / 大牟田市曙町7番地の6  
0944-54-5518



新鮮なコーヒーをお届けできるように、毎日少量ずつ焙煎しています。

## 自家焙煎の 武蔵焙煎工房

宮本武蔵 ゆかりの地 武蔵焙煎工房 (ホープ印刷株式会社 コーヒー事業課)

〒861-8007 熊本市龍田弓削1丁目4-12 TEL 096-338-0699 FAX 096-386-3001

熊本市内は配達出来る地域もございます。(お問い合わせ下さい。)

ホームページからのご注文も承っております。

武蔵焙煎工房 検索

E-mail musashi@xnd.co.jp  
http://www.xnd.co.jp/musashi

心と心のふれあいを大切に



http://www.matusita.net

お安い費用で、お仏具修復



どのような事でも、当社営業マンにご相談ください。お見積りは、無料です。お気軽にお問い合わせ下さい。

# 御正忌 報恩講

日時・1月16日(日)

午後12時30分よりお斎

午後1時30分よりお勤め(午後4時終了)

場所・阿弥陀寺新本堂(益城町福富916)

法話・岸本 秀一師(三重県鈴鹿市・常楽寺住職)

真宗佛光寺派内局出仕、前教学部長

講題・「恩返し」



○新本堂にて、法事・葬儀ができます

この1月からお参りいただけます。冷暖房、駐車場も完備していますので、月命日、法事、葬儀などにご利用ください。

早めにお寺までご連絡いただき、日時の調整を願います。

○新住所・FAX

番号のお知らせ

住所 益城町福富916

FAX 096-297

9161

尚、電話番号、Eメールアドレスは変わりません。

○納骨堂「無量寿堂」

新本堂に納骨堂を新たに増設しました。それに伴い加入者を募集しています。料金はお寺までご連絡ください。

現在あるものと同じ

ロッカー式の納骨堂です

奥行 34 cm  
高さ 37 cm

分骨されれば、1箇所

に何人分でも入る事ができます。(小さい骨壺はこちらで用意できます)

新しい本堂において初めての「親鸞聖人ご命日・御正忌報恩講」を、上記の日程でお勤めします。今回よりお斎をご用意しています。皆様のご参詣を心よりお待ちしております。

## 平成23(2011)年・年回忌表

- 1周忌 = 平成22 (2010) 年
- 3回忌 = 平成21 (2009) 年
- 7回忌 = 平成17 (2005) 年
- 13回忌 = 平成11 (1999) 年
- 17回忌 = 平成7 (1995) 年
- (23回忌 = 平成元年 (1989) 年)
- 25回忌 = 昭和62 (1987) 年
- (27回忌 = 昭和60年 (1985) 年)
- 33回忌 = 昭和54 (1979) 年
- 50回忌 = 昭和37 (1962) 年

上記が、本年の年回忌の一覧です。ご法事の日程が決まりましたら、お早めにお寺までご連絡ください。

(096-289-0424)

尚、阿弥陀寺よりお参りさせていただいているお宅には、郵送にて年忌のご案内をさせていただきます。

○お墓の受付  
納骨堂ではなく、墓地をご希望される方も、ご相談ください。

## ○永代経供養を承ります

毎月のお参り、今後の仏事等が勤められないというご相談を受けました。そこで、永代経供養帳を

準備し、故人のご命日、お名前を記入し、ご命日に読経いたします。詳しくはお寺までお問い合わせください。  
(096-289-0424)

## 本の紹介



『父を焼く』

上野英信と筑豊

著者・上野 朱

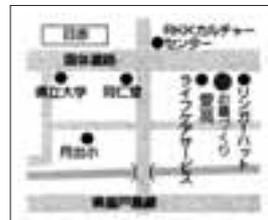
岩波書店

定価2310円(税込)

北九州筑豊の地で谷川雁・森崎和江らと共に「サークル村」で活動し、その後、記録作家として多くの名著を遺した上野英信。その一人息子である著者が英信と彼を支えた母・晴子の思い出、筑豊の風土とそこに住む人々を描く珠玉のエッセイ集。

## 展示品半額！ 新作(80万円～)も近日登場

- 展示場リニューアルのため、現品処分中(詳しくは店頭にて)
- 10年保証・耐震施工。熟練の職人が完成まで責任施工いたします
- 見積もり無料、提携墓地あり
- お墓の移設・改建・解体工事などお気軽にご相談下さい
- お墓のクリーニングも承ります



お墓づくり  
**愛高(あいこう)**  
☎096-368-1088

住/熊本市戸島西2-3345-8  
営/9:00~18:00  
休/不定休  
(来店時は電話で問い合わせを)



インド産御影石(敷地面積5㎡以上)